

クラス	TU306	担当教員	小坂 啓史
テーマ	自分自身の経験と社会とのつながり ～社会学的発想から社会学的思考法へ～		
著書・論文 研究課題等	<p>&lt;近年の研究課題&gt;：エスノメソドロジー的方法に基づくケアの映像分析、視覚論、映画社会学</p> <p>◆「ケアの場における相互行為を分析するために—エスノメソドロジーの応用可能性に関する考察」 （『日本福祉大学 子ども発達学論集』第6号、2014年）</p> <p>◆「&lt;ケア関係&gt;の形成についての相互行為分析—『重度身体障害者』対象の生活介護事業所でのビデオ映像データに基づいて」（『現代と文化：日本福祉大学研究紀要』135号、2017年）</p> <p>◆「中学校教育における社会学教育の位置づけについて—社会学的想像力に基づく思考方法の導入に向けて」 （『教職課程研究論集』第16集、2017年）</p>		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード：社会学的想像力、社会学的発想、社会学的思考法、社会学的方法、社会学的知識			
<p>《内容・方法について》</p> <p><b>（1）社会学的な発想と考え方を身につけよう</b></p> <p>第一に、このゼミではまず「社会学的想像力」（ミルズ）というものを身につけていくことを目標としています。「社会学的想像力」とは、時代や社会の大きな動き、変化と、私たちの身近なふるまい、人間関係、日常生活などがどのように結びついているのか、想像し考えていくことです。こうした発想は、現代ではとくに重要なものになってきています。私たち自身の個人的な悩みや漠然とした「生きにくさ」と、社会のしくみといったものが、実は常に関わっているのだという視点。それは自分以外の「他者」と関わって生きている私たち自身の人生について考えるとき、そしてその方向を考えていくときに、大切なものになると思います。</p> <p><b>（2）「社会」とは？「生活」とは？</b></p> <p>第二に、社会学におけるさまざまな「社会のとらえ方」について考えていきましょう。まずは、それらがどのような発想から出発しているのかみていき、その上で現代のさまざまな社会問題、社会・文化現象を、みなさん自身の体験と関わらせつつ、考えていきましょう。ゼミでは、映画など映像資料等を用いることもあります。</p> <p><b>（3）社会学的研究方法を学ぼう</b></p> <p>第三に、社会学的研究の方法について学んでいきます。卒業論文などで、みなさん各自の問題関心、研究テーマを追求していくとき、どのように分析、研究したらよいのでしょうか？ そのようなことについても、このゼミでは身につけていきます。実は、社会学の研究方法にはさまざまなスタイルがあります。これらについて理解し、自分のテーマに合ったものを用いて、卒論の執筆ができるようにしていきましょう。</p> <p>《授業の進め方など》</p> <p>進め方は基本的にゼミナール形式です。共通の文献や論文を取り上げて、報告と話し合いをしていきます。そして、3年生（予定）の夏休み期間に、関東地方の他大学のゼミと共同で<b>合同ゼミ合宿</b>を開催しますので、これへの参加を前提に、エントリーをしてください。</p>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
<p><b>3年生</b>では、まずは社会学的な専門知識を増やしつつ、それによって社会のさまざまな見方、とらええ方を身につけましょう。その際、実感を伴って考えていけるかどうか重要です。これをもとに、卒論につながる、自分独自の研究テーマについて考えていきましょう。<b>4年生</b>では、3年生時から準備してきた研究の成果を出していくことが重要になります。みなさん自身の、大学生としての「総仕上げ」として、自分のテーマに基づき、卒業論文に取り組みます。</p> <p>ゼミでは「禁句」があります。それは、「<b>わかりませ～ん</b>」「<b>同じで～す</b>」という意見（？）です（これらのバリエーションも）。わからないことがあれば、きちんと提起をして、みんなで話し合っただけでよいのですし、また、意見が他の人と同じでも、きちんと自分の言葉で述べるのが大事です。また、その際に気をつけてほしいのは、<b>意見を単純化させすぎること</b>です（→「<b>～にすぎない</b>」など）。社会で起こる現象のメカニズムは、「～にすぎない」など、一言で答えられるほど単純ではありません。また、この意味での単純化は良くない意味での「<b>シニカルさ</b>」につながり、結局何も考えていないことになってしまう恐れもあります。</p> <p>それから最後に…<b>わからないことや知らないことがあるのは、別に恥ずかしいことではありません！</b> 集中しつつもリラックスし、ゼミに臨んでください。そのための環境作りには十二分に配慮していくつもりです。</p>			